

「戦争法案」の「廃案」・「慎重審議」 求める意見書、次々採択

埼玉 政令指定都市で初めて意見書採択

■さいたま市議会は17日、全会一致で「安全保障関連法案の審議にあたり慎重な取扱いを求める意見書」を採択。市民有志、婦人団体、平和団体からの3つの請願や、さいたま市内での1万人を超える集会も後押しとなりました。政令指定都市での意見書採択は初めてです。■長瀬町議会では16日、九条の会が提出した『国際平和支援法案』『平和安全法制整備法案』の廃案を求める意見書を7対2の大差で可決しました。本会議では73歳の保守系議員が「戦争は絶対にダメだ」と発言する場面もありました。■滑川町議会は4日、「安全保障関連法案を憂慮する意見書」を全会一致で可決。同法案に反対する意見書提出を求めて町民有志が提出した請願が、全会一致で採択されたことを受けて可決されたものです。

(埼玉憲法会議活動ニュース年6月19日号より)

青森 新郷村・鱒ヶ沢町で「廃案」求める意見書採択

青森県労連は6月議会に向けて全自治体に「安全保障関連法案」(戦争法案)の廃案を求める意見書採択のとりくみをすすめてきました。外ヶ浜町議会に続いて、新郷村議会(6月12日、全会一致)、鱒ヶ沢町(6月17日、8対3)でも採択されました。日本共産党議員がゼロの保守系議員のみの議会で、戦争法案の廃案を求める意見書が採択されるのは異例のことであり、それだけ危険な法案であることを表しています。

(憲法ネットあおもり FAX 通信より)

三重 県議会で「慎重審議」求める意見書採択

三重県議会は16日、「安全保障法制の慎重な審議を求める意見書」を27対23の賛成多数で可決しました。意見書案は民主党系会派「新政みえ」が提出したもの。日本共産党は賛成し、自民党と公明党が反対しました。意見書は「平和憲法の下で、わが国が貫いてきた海外で武力行使をしないという原則を大きく転換しようとしているのにもかかわらず…国民への丁寧な説明や国会での徹底審議を避け、結論ありきで法改正を強行しようとする政府の姿勢は容認できない」と批判し、「今の通常国会での改正法の成立にこだわらず、国会での審議を慎重かつ丁寧に進めるよう要請する」としています。

国会前座り込み行動5日目 雨にも負けず・・・

本日のリレートークでJMIUから元気の出る発言があったので掲載します。

JMIUからの発言

団交で経営者「廃案まで頑張ってください！」

「昨日はとてもうれしい体験をしました。JMIUは各経営と産別団交をやっていますが、いろいろな経営者と交渉する機会があります。普段は政治に絡む話には消極的な、とある経営の取締役が夏季一時金団交で自ら口を開いて『安倍首相と自公政権は戦争法案を強行しようとしている。こんなむちゃくちゃな話はない。憲法に反していることは明白。立憲主義が壊されてしまう』と強い怒りを訴えてきました。『自分は経営者なので権力にものを言うことは憚られるが、JMIUのとりくみを、自分たちのような者の思いをも含めて廃案にするまで頑張ってください』と頼まれました。もっともっと声をあつめ、絶対阻止のため頑張らしましょう」

(JMIU 東京地本副委員長・小泉隆一さん)

